

## 2023年度全国学力・学習状況調査の本校の結果をお伝えします

○令和5年4月18日実施

○第3学年のみ

○国語 50分 数学 50分 英語 50分 生活調査 25分

○全国学力・学習状況調査の結果・報告書は、国立教育政策研究所のホームページに詳しく掲載されています。

<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/index.html>

### ○国語

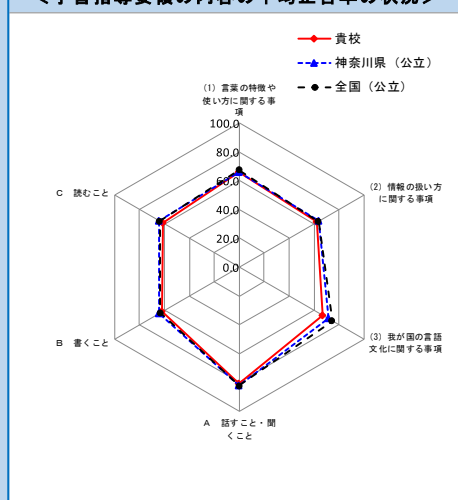
「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」ともに全国の正答率を下回る結果だった。ほぼ全国の正答率と変わらない状況ではあるが、特に、「我が国の言語文化に関する事項」が平均を大きく下回っている。

今後は、「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる」、「古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができる」ために必要な知識を増やし、表現できるような活動を増やすことで、力を伸ばしていきたい。

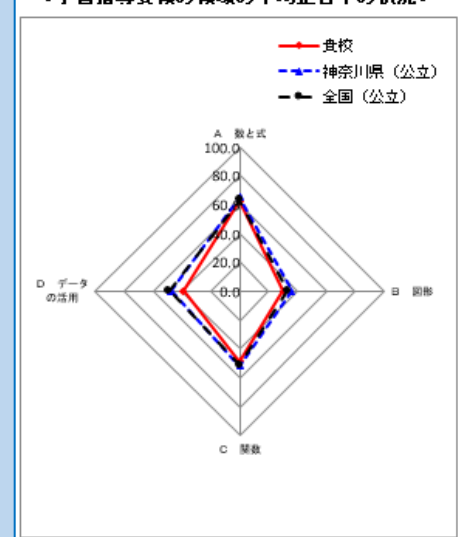
### ○数学

どの学習指導要領の領域も正答率が神奈川県平均、全国平均を下回る結果となった。特に「反比例の意味を理解しているかどうか」や「累積度数の意味を理解しているかどうか」などは、平均を大きく下回っている。しかし、「問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる」は県や全国の平均を上回る正答率であった。関数や図形の領域が苦手な人が多いので、引き続き問題演習を多く取り入れながら力を伸ばしていきたい。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>

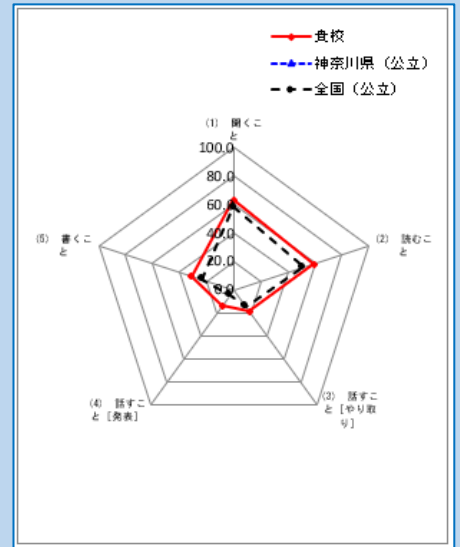


<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



## ○英語

「読む」「書く」は全国平均おおよそ上回っているが、「聞く」は全国平均を下回る問題が多かった。問題別で見ると「日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る」、「社会的な話題について、短い説明の要点を捉える」問題では全国平均を大きく上回った。一方「情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる」問題では全国平均を大きく下回った。コロナ禍での制限はあるが、今後はできる限りリスニングにおいて詳細を確認する時間や友人とのやりとりをとおして、多くの英語を使ったり聞いたりする時間を増やしていきたい。



一方、「話す」テストにおいては、おおむね全国平均を上回った。問題別で見ると、「日常的话题に関して聞いたこと

について、考えとその理由を述べ合うことができるかどうか」、「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうか」の問題で全国平均を上回った。今後も自分の考えや意見を発表する場を多く設けながら、やりとりを行う時間を設けていきたい。

## ○生活

質問事項	回答割合			
	肯定	やや肯定	やや否定	否定
自分には、よいところがあると思いますか	本校: 45%	本校: 45%	本校: 10%	本校: 0%
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	本校: 30%	本校: 40%	本校: 20%	本校: 10%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	本校: 45%	本校: 45%	本校: 10%	本校: 0%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	本校: 30%	本校: 40%	本校: 20%	本校: 10%
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	本校: 45%	本校: 45%	本校: 10%	本校: 0%
読書は好きですか	本校: 30%	本校: 40%	本校: 20%	本校: 10%

生徒が困った際に先生や学校にいる大人に相談できたり、普段から幸せを感じたりする割合が多いのはよい。さらに自分に自信をもち、自分を好きなる割合を増やしていきたい。地域や社会への意識が国を上回っているのは、地域と学校の連携ができていことが大きな要因であると考え。ICT機器の使用について大きく伸ばしたことは、生徒の将来にプラスである。国と数値的な差が最大の課題は読書である。朝読書の時間や読み聞かせだけに頼らずに、授業における学校図書館の利活用を軸に、何らかの手立てを講じる必要がある。